

「フムフムあかつか Project」今後の予定

「フムフムあかつか Project」では、令和5年度・6年度の2年をかけて、地区の景観資源を活かした「景観まちづくり」に取り組んでいます。令和6年度もまちあるきなどを含め、4回程度の勉強会を開催します。詳細は決まり次第、改めてお知らせします。

令和5年度

第1回 「赤塚地区のまちあるき」10月29日(日)開催
赤塚地区のまちを講師と歩き、歴史・地形・みどりなどの赤塚の魅力を楽しみながら勉強します。(本ニュース p1 に掲載)

済

第2回 「地区を深める」12月5日(火)19時～ 場所:下赤塚地域センター
赤塚地区の魅力なスポットや街並みについて話し合い、赤塚地区の理想の姿について考えます。(本ニュース p2 に掲載)

済

アンケート調査(1月下旬～)(本ニュース p3 に掲載)

第3回 「地区の将来を考える」3月6日(水)19時～ 場所:下赤塚地域センター
①景観まちづくりプラン骨子(案)のまとめ
②選んで、切って、貼って!～景観デザインワーク～
・当地区の特徴を活かした敷地と建物のデザインシミュレーション
(本ニュース p2 に掲載)

済

令和6年度は、5年度の話し合いやアンケート調査、「景観まちづくりプラン骨子案」等を踏まえて、「景観まちづくりプラン」の検討や、実際に実現できるようなモデル事業等を進めてまいります。

令和6年度

第4回 5月ごろ開催予定 「赤塚地区のまちあるき」

第5回 6月&夏ごろ 「景観まちづくりのルール

第6回 開催予定 などのアイデア出し」

第7回 秋ごろ開催予定 「ワークショップ(※最終回)」

地域の皆さんと楽しめる
「フムフムあかつか
Project」も引き続き企画
しています。

「フムフムあかつか Project」の勉強会の参加者を引き続き募集します

「フムフムあかつか Project」では、「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい!」という皆さんの思いを形にし、実現していくための計画の検討を行う勉強会を開催していきます。ご興味・ご意見などある方、専門知識がない方でもOKですので、ぜひお気軽にご参加ください。勉強会に参加をご希望される方は、電話・Fax・メールにて受け付けしております。表面のお問い合わせ先にご連絡ください。

赤塚四・五丁目地区
景観まちづくりニュースMar
2024

Vol.

4

令和5・6年度にかけて
景観まちづくりの勉強会を
開催しています!

板橋区は、赤塚四・五丁目地区の皆さんと一緒に、地区の景観資源を生かした「景観まちづくり」に取り組んでいきます。

令和5年8月から赤塚四・五丁目地区の景観の魅力について地域のみなさんに楽しみながら知ってもらう「フムフムあかつか Project」を始めました。また、10月からは景観まちづくりに関する勉強会「フムフムあかつか Project」も進めています。現在まで、まちあるきやワークショップなど計3回の勉強会を開催し、参加者のみなさんと地区の景観の魅力や課題について意見交換を行いました。

この勉強会では、「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい!」という皆さんの思いを形にし、実現していくための計画を検討していきます。ぜひお気軽にご参加ください。

第1回勉強会では、まちあるきを行いました。こちらの二次元コードから当日の様子をご覧ください! (詳細はニュース Vol.3 で紹介しました。)

公開期限:令和7年3月31日まで
※無断転載はご遠慮ください。

みどりコース



地形コース



第1回勉強会(まちあるき)



第2回勉強会(意見交換)

アンケート調査へのご協力のお礼

赤塚四・五丁目地区の景観まちづくりに取り組むにあたり、お住まいの皆さんのご意見を伺うため、令和6年1月～2月にかけて、アンケート調査を実施しました。600名を超える方からご回答をいただきました。ご協力いただいたありがとうございます。

「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン(骨子案)」を配布します

勉強会に参加した皆さんの意見をもとに、「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)」を作成しました。今後の赤塚四・五丁目地区景観まちづくりの指針となるように、景観の課題や将来像、景観まちづくりの取り組みアイデアなど、令和6年度も検討を深めていきます。是非ご覧ください。



板橋区の景観まちづくりに関する問い合わせ先

板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係
tel.03-3579-2549(直通) fax.03-3579-5436
email:t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp



「フムフムあかつか Project」勉強会を開催しました！

第2回勉強会

他地域における先進的な景観まちづくりの事例について学びつつ、赤塚四・五丁目地区で取り組みたい景観まちづくりや活かしたい資源について話し合いました。



第2回勉強会の様子

見晴らしのいい場所をつくりたい。

落ち葉清掃は奉仕会がしている。緑の管理の方法を考えよう。

宅地分譲が増えていることが気になる。

地域の歴史をもっと知りたい！

第3回勉強会

① 景観まちづくりプラン骨子（案）のまとめ

景観まちづくりの将来像・方針、取り組みアイデアについてとりまとめた景観まちづくりプラン骨子（案）について共有を行い、意見交換をしました。

② 選んで、切って、貼って！～景観デザインワーク～

地域の大切な資源である崖線などの「高低差のある地形」や参道などの「みどりと歴史があるまちなみ」を想定し、景観まちづくりの方針と合う建物や工作物、植栽について考えました。

みどりと歴史が感じられるまちなみにふさわしい建物デザインは？



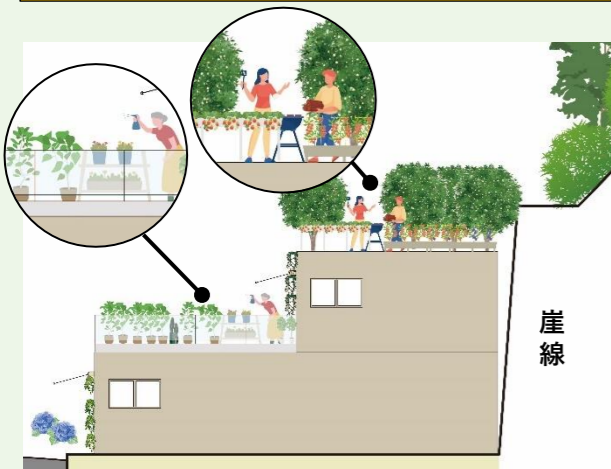
並木に合わせて庭には木を植えよう。

外壁はみどりと調和する色にしよう。

屋根の色もみどりや歴史と合う落ち着いた色にしよう。

花を楽しむ通りにしたい。バルコニーにも花を飾りたい！

高低差のある地形にふさわしい建物デザインは？

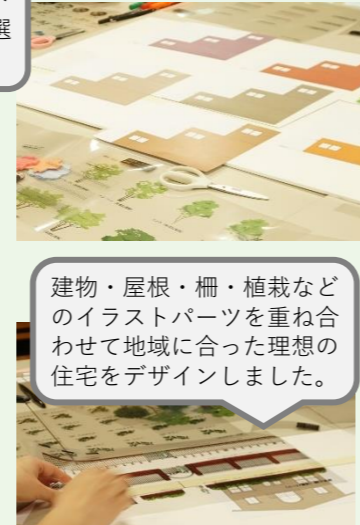


崖線とつながりが感じられるように緑を植えよう。

テラスをつくってガーデニングや星空観察をしたい！

屋上やテラスでの活動が見えるようにデザインしよう。

様々な色の建物カードから地域に合う色を選びました。



建物・屋根・柵・植栽などのイラストパーツを重ね合わせて地域に合った理想の住宅をデザインしました。

景観まちづくりの方針

地形による変化のある眺望を活かした景観づくり

崖線のみどりや農地のみどりに親しむ・楽しむ景観づくり

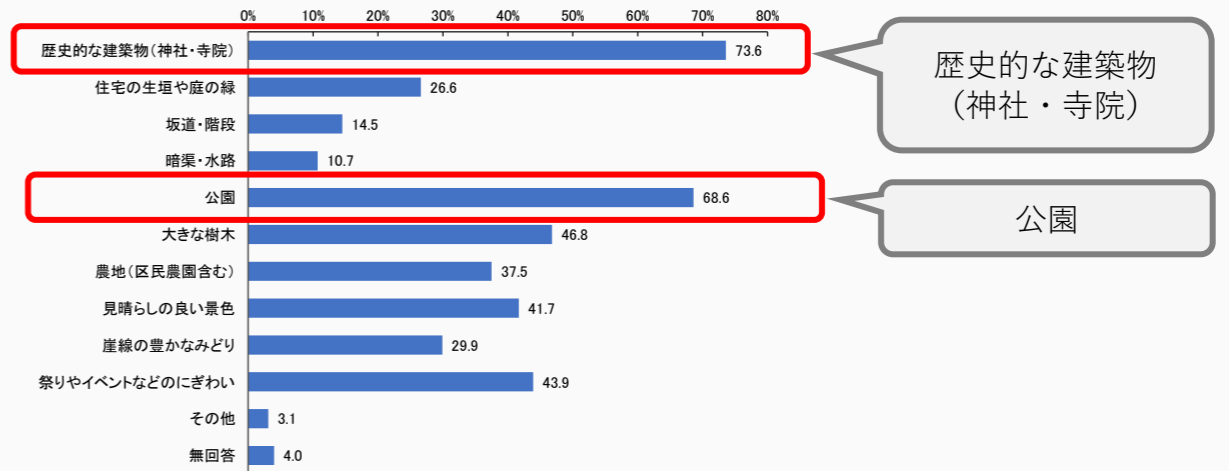
地形による変化のある眺望を活かした景観づくり

アンケート調査の結果の報告

地区内の方約 3300 戸にアンケートを配布させていただき、**643 名 (約 19%)** の方から回答いただきました。ご協力ありがとうございました。アンケート結果の一部を報告させていただきます。

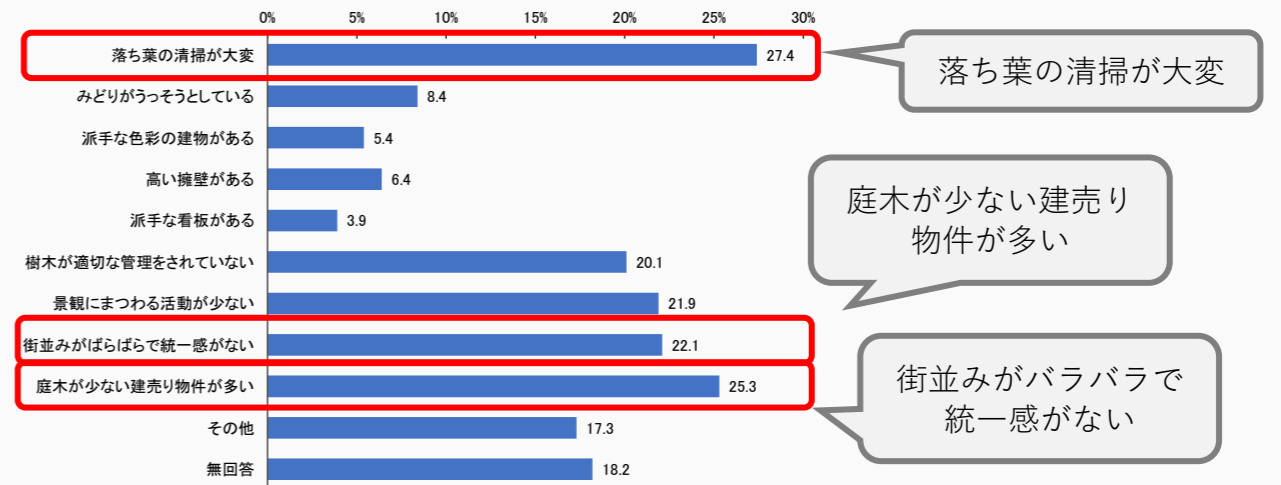
愛着がある、残していきたいと思う赤塚四・五丁目地区の魅力ある資源・風景

多くの人が、「**歴史的な建築物 (神社・寺院)**」(73.6%)、「**公園**」(68.6%) と回答しています。



赤塚四・五丁目地区の景観に関わる課題

「**落ち葉の清掃が大変**」(176 人、27.4%) が最も多く、「**庭木が少ない建売り物件が多い**」(163 人、25.3%)、「**街並みがバラバラで統一感がない**」(142 人、22.1%) と続いています。



景観への配慮について定めたルール(外壁の色彩や建物の緑化等)の必要性

「**最低限のルールは必要である**」という回答が半数以上 (399 人、62.1%) となっており、「**細やかなルールが必要である**」(74 人、11.5%) とあわせると、「**ルールが必要**」と回答された方は **73.6%** になります。

